

◎研究レポート

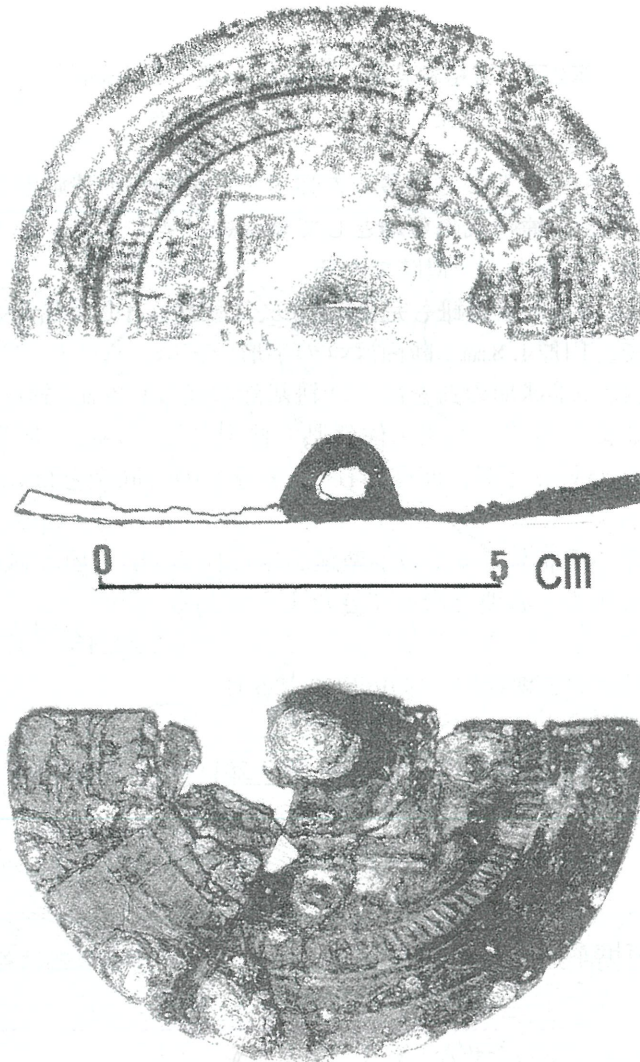
The Han style mirrors in Ehime No.38

弥生の鏡 (補遺1)

土壇原北遺跡 (弥生後期の墓抔) 出土の「方格四乳文鏡」

名本 二六雄

- (1) 道後平野の南部には砥部川・重信川によって形成された扇状地が展開するが、同時に四国山脈の西南端裾でもあり平野部に比べて 10m ほど高い台状地形もあり、完好な「村」と「畑」が入り混じった村邑を形成したようである。一帯に、弥生後期及びそれ以降の耕地と住地の存在が、近代・現代に確認されている。



第1図 方格四乳文鏡 土壇原25号土壇墓出土 径7.8cm

会所だより

7月例会の報告

令和6年7月21日(日)、そがめ塾にて7月例会を開催しました。

参加者… 正岡睦夫・名本二六雄・清水眞一・河原 茂・遠部 慎・井出耕二・十亀幸雄・山之内志郎 合計8名(順不同・敬称略)

1、例会(10:00～12:30)

(1) 事務局

- ① 『遺跡』56号(2024年3月刊行済)について
残冊数が32冊となりました。六一書房へ委託販売を依頼します。
- ② 『遺跡』57号(2024年度刊行予定)共同研究について
石器や出土銭貨など、これまでの特集で欠けている地域を集めて刊行します。執筆者には個別に依頼しますので、よろしくお願ひします。
- ③ 『遺跡』58号(2025年度刊行予定)共同研究について
テーマは、5月例会で会員からご意見をいただいた候補のうち「箱式石棺」とし、過去に集成した23・24号の再集成になります。原稿の締切は2025年12月末とします。分担は下記のとおり通常の地区割とします(予定)。
・東予…(保留) ・風早平野…河原 ・道後平野西部…山之内
・道後平野東部…(検討) ・道後平野南部…十亀 ・南予…清水

(2) 下記のとおり各会員から発表がありました。

- ① 正岡睦夫「愛媛県の箱式石棺」
- ② 河原 茂「松山市俵原池用水と円筒分水工」
- ③ 清水眞一「明治十七年の石碑拓本」
- ④ 遠部 慎「座談会 上黒岩岩陰遺跡をめぐって」
- ⑤ 十亀幸雄「南光院山伏墓地と明和8年銘8号基壇墓」
- ⑥ 名本二六雄「県内出土の青銅鏡」

2、次回例会予定日について

9月8日(日)10:00～そがめ塾にて行います。詳細につきましては、ニューズレター次号でお知らせします。

(山之内志郎報告)

遺跡発行会の皆様へ

暑中お見舞い申しあげます

あついあつい! 2024年盛夏

第190号目次

弥生の鏡(補遺1)土壇原北遺跡(弥生後期の墓抔)出土の「方格四乳文鏡」	……名本二六雄	1
南光院当山派山伏墓地(1)南光院山伏墓地と明和8年銘8号基壇墓	……十亀幸雄	3
これも考古学?八幡浜・大洲街道に残る道標	……清水眞一	11
愛媛東中南博物館インフォ8月	……	2
受贈図書7月	……	14
『いせきニューズレター』目次 第181号～第190号	……	15
会所だより	……	16